



工房だより

～ペットのための自然食キッチンから～

2026年4月号
vol.95



今月の一枚

ノビくん

1才1ヶ月 撮影時
ミックス
(ダックス&チワワ)



いつも人間のすることに興味津々の元気な男の子です。以前は他のドッグフードを使っていたのですが、食べなくなりました。便の状態もきれいになりました。これからどうぞよろしくお願いします！

ワンちゃんのお写真募集中!

メールにて、どんなワンちゃんか一言添えてお送りください。採用された場合には心ばかりのお礼をお送りします。
info@petfood-kitchen.co.jp



フォローして

ワンちゃん情報やキャンペーン情報をチェック!!



工房スタッフのつぶやき

🐶 デザイン担当 中村

春の公園で起こった事件

昨年の春、

美しい花々に

彩られた公園

での出来事です。



早朝、ナギくん（シーズー）との

散歩道。少し伸びたリードの先で、

彼は茂みで何かを口に入れてモゴ

モゴ。アツと思った時には手遅れ。

落ちていたツツジを食べてしま

ました。その後は、異常なよだれと

嘔吐と下痢がナギくんを襲いまし

た。動揺を抑えつつも冷静に状況を

記録し、現物を携え病院へ急行。

少量でも猛毒となるツツジ。無理

に吐かせず即受診したことで大事

に至らずに済みました。

華やかな春の景色に潜む罠。愛犬

を守るには、飼い主の「近づかせな

い慎重さ」と「冷静になること」だ

と痛感させられる一件でした。

獣医さんからは「的確な対応だっ

た」と褒められました。が思い出すと

背筋が凍ります。

第一回 犬も虫歯になる？

知らなかった“歯の病気”

世田谷獣医歯科診療 獣医師の

岡田純一と申します。今回から六

回にわたり、愛犬の歯について書か

せていただきます。

第一回では、歯周病など愛犬に多

い病気についてご説明します。

診察室では「犬もヒトのように虫

歯になりますか？」と聞かれること

がよくあります。獣医学的・私の経

験からは「なることはあるが、極め

て稀」というのが答えです。では、

なぜ犬の歯のトラブルがヒトと異な

るのか、そして獣医療において歯の

健康がどう全身に関与していると思

えられているか、解説します。

■なぜ犬は「虫歯」になりにくいのか

犬に虫歯が少ないのには、明確な

解剖学的・生理学的な理由がありま

す。

①唾液中のpH値…人間の唾液は弱

酸性ですが、犬の唾液はアルカリ

性（pH 8.0 ～ 8.5程度）です。虫

歯菌は酸性の環境を好むため、ア

ルカリ性の環境下では繁殖しにく

いと考えられています。

②「アミラーゼの欠如」 犬の唾液には、デンブンを糖に分解する酵素（アミラーゼ）がほとんど含まれていません。甘いものを食べない限り、酸の元となる糖類が多くない環境です。

※そのほかにも理由があるとされています。

■ 最大の脅威は「歯周病」

虫歯のリスクが低い反面、犬の口腔内はアルカリ性であるため、カルシウム分が沈着しやすく、歯垢（プラーク）が急速に「歯石」へと変化します。この歯石を足場に細菌が増殖し、歯肉の炎症や歯槽骨破壊の原因となる「歯周病」が犬において最も多い歯科疾患です。

実際、3歳以上の犬の約80%が歯周病、あるいはその予備軍であるという疫学データも広く知られています。重症度の差はありますが、ほとんどの愛犬は歯周病になっている可能性があると言っても過言ではないかもしれません。

■ 「口腔内の炎症」全身に及ぼす影響

近年、獣医歯科学の研究において注目されているのが「歯周病と全身疾患の関連性」です。

歯周病になると炎症を起こした歯肉の血管から細菌が血流に侵入する「菌血症」を引き起こすリスクが高まります。論文等では、以下の臓器への悪影響が示唆されています。

・心臓…
心臓弁膜症（僧帽弁閉鎖不全症など）の進行リスク因子となる可能性

・腎臓・肝臓…
血流に乗った細菌や炎症物質による、微小な組織障害の蓄積となる可能性。

つまり、歯のケアは単なる口臭対策ではなく、全身の健康寿命を延ばすための予防医療になるかもしれません。

愛犬も毎日の歯磨きに加えて、定期的な歯科検診と歯石除去をしてあげてください。

わんちゃんと旬を楽しむ

第十三回 苺のタルト



Instagramで動画配信中:
レシピ提案/撮影: yamashita_rei

苺のタルトのレシピについては、表紙のInstagramから確認下さい。



Chap65: 避難ルート

週末の午後、高尾さんちのリビングでは、工さんと房さんが、大きなリュックを前に防災グッズの準備中。

叶ちゃんやもっくんのと、自分たちの分も揃え、「これで一安心だ」と、重くなったリュックを背負い、工さんがホッとした表情を浮かべ、房さんも「ええ、備えあれば憂いなしね」と微笑む。しかし、工さんがハタと気づきました。「グッズは揃ったけど、肝心の避難ルートを確認してなかったな。これじゃあ宝の持ち腐れ」



房さんも避難ルートの確認に賛成し、工さんはリュックを背負って、もっくんのキャリーを、房さんも叶ちゃんのキャリーを抱えます。玄関を出て、避難所である近くの中学校を目指します。「災害時は『いつもと違う』ことの連続だからね」と工さん。様々なシチュエーションになれることが大事と話し続ける。

ポイントはこの3点と抱っこやキャリーでの移動▽△音への耐性▽△誰にでも触らせる(社会化)▽中でも「社会化」が最重要。大勢の人に囲まれ触れられてもおとなしくできれば、避難所でも安心です。目的地に到着し、二人はリュックの重みを感じながら、キャリーの中の二匹に優しく微笑みました。物・道・心の準備が整い、「本当の安心が手に入った」と語る工さん。この避難ルートの確認が、高尾家にとって確かな安心への第一歩となりました。